

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	二地域居住・定住希望者のニーズを踏まえた古民家活用などによる受け入れ環境整備事業
対象地域	山梨県山梨市八幡地域
対象地域の概要	   【山梨市位置図】 【国の重要文化財が数多く指定されている山梨市八幡地域】
提案内容の概要	少子高齢化、過疎化、農業後継者不足などが顕在化し、荒廃農地や空き家の増加が深刻な問題となっている昨今、豊かな自然資源と歴史文化資源を活かし、首都圏を中心に、二地域居住・定住希望者のニーズを踏まえ、受け入れ環境を整備と交流・居住人口の増加と地域の活性化を目指す。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	過疎化により多くの空き家が点在しているが、先祖から受け継いだ家屋を売ったり貸したりするなど考える人が少ない。しかし、放置しておけば、単に朽ちるばかりで、人口減少と地域コミュニティの機能は、低下する一方であり、防犯上からも空き家の点在は、課題とされている。 こうしたことを踏まえ、山梨市では、平成18年度から空き家バンクを実施している。実施から2年半余りが経過しているが、既に、28件の成約に至っている。成約者の6割が、二地域居住者であり、昨年度本事業で実施したアンケート結果によると、二地域居住を希望する人が全体の半数余りを占めている。 さらに、住居として、古民家を求める人が、全体の4割を占め、改修方法などのノウハウを学びたいといった要望や地域の人々と係わるきっかけづくりがほしいといった要望が多く寄せられている。
(2) 活動内容の案	活動①： 古民家改修体験事業及び交流体験事業の実施 古民家改修体験事業を通じ、家屋改修方法のノウハウを身に付けるためのプログラムを実施する。さらに、都市住民の地域の理解と地域住民と都市住民の受入意識の向上を図るための交流体験プログラムの実施。 活動②： 地域街並み保存、復元活動事業の実施 自然及び歴史文化資源に恵まれた八幡地域の街並みを保存及び復元するための活動を地域住民との協力連携により実施する。 活動③： 移住・二地域居住希望者相談事業及び関連情報提供の実施 移住・二地域居住希望者を対象とし、市及び（社）県宅地建物取引業協会との連携により、空き家物件の情報提供、物件改修の手順など情報提供をホームページなどを通じて実施する。
応募団体名	特定非営利活動法人 山梨ガバメント協会
リンク	http://www.yamanashi-ga.org
部局／担当者名	事務局 磯村賢一
連絡先	k-isomura@fruits.jp / infotyo@yamanashi-ga.org
推薦市町村名	山梨市